

令和7年4月

令和7（2025）年度 国スポ選手選考基準（体操競技）について

神奈川県体操協会 強化部

1. 令和6年度少年女子国スポ選手選考方法について

少年（中学3年生～高校3年生）個人総合得点については4日の県中学生選手権大会に出場し、国スポ選手を希望する中学3年生の個人総合得点と5日の関東高校大会県予選会兼少年国スポ県予選会の個人総合得点を並べて順位付けを行い、推薦選手を含む上位8名を国スポ候補選手として選考する。

2. 国スポ選手選考基準（少年・成年）について

ア NHK杯出場者（個人総合上位選手から優先）を第1推薦とする。

イ 全日本個人総合選手権出場者（個人資格取得者）を優先とし、複数の場合は個人総合予選日の上位選手から第2推薦とする。

以上のア、イで選出された選手を**国スポ正選手**とする。

但し、最大4名までとする。上記「ア」と「イ」を合わせて5名以上になった場合には5番目以降の選手は国スポ県予選会に出場すること。

上記4名の推薦による決定選手については、神奈川県体操協会から本人へ連絡する。 **※全選手ともに国スポ県予選会への参加申込を絶対必要条件とする。**

ウ 推薦選手（最大4名）と国スポ県予選会の個人総合上位の**合計8名を国スポ候補選手**とする。推薦選手が不在の場合は、国スポ県予選会個人総合上位8名とする。

エ 候補選手から以下の方法で正選手を決める。

i. 選考基準のア、イを満たす正選手数が4名の場合 国スポ県予選会上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。

ii. 選考基準のア、イを満たす正選手数が3名の場合 国スポ県予選会個人総合上位1名を正選手とする。国スポ県予選会上位1名を除いた上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。

iii. 選考基準のア、イを満たす正選手数が2名の場合 国スポ県予選会個人総合上位2名を正選手とする。国スポ県予選会個人総合上位2名を除いた個人総合上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。

オ チーム貢献度による選考について 上記「エ、iii」までに選出された4選手と組み合わせたチーム得点（5選手のベスト4得点）が最も高くなる選手を選出する。

カ チーム貢献度選出選手のタイブレークについて

①チーム得点貢献種目の多い選手を上位とする。

②貢献種目が同数の場合には、貢献した種目の得点に対してポイントを与える。

ポイントは 1位：4P、2位：3P、3位：2P、4位：1Pとする。

合計ポイントが高い選手を上位とする。

キ 上記でも決められない場合には強化部で検討し、常務理事会にて決定する（補足）選手選考（補欠含む）について以下とする。

推薦選手および国スポ県予選会の結果から、選手5名（推薦選手含む）と補欠3名（計8名）を決定する。

国スポ県予選会の序列については、個人総合順位とチーム貢献度により以下の選手選考表のとおりとする。

（例：推薦4人例で同一選手が貢献1位で予選1位の場合は選手5となる。）

また同一選手が条件の重複によって上位枠が空いた場合、順次下位選手を繰り上げる。（例：推薦4人例で補欠1に該当選手不在の場合は、予選2位が繰り上がり、補欠2は貢献2位となる）

以下に記載されていない、これ以降の順位については予選会個人総合上位者から順に繰り上げる。

補欠2までの7名については、メディカルチェックを受診すること。（県体操協会負担）

※補欠は正選手に不測の事態が生じた場合、止むを得ない事情を除き、すぐに交代できる者を指すため、その意向がない者は選手発表までに、速やかに監督または顧問を通じて補欠を辞退する旨の申し出を大会本部へすること。

また、アクシデント等により大会出場者が競技規則に定める選手数に満たない場合は、上記候補選手8名以外に予選会個人総合上位者から補充措置を取ることができる。

3. 国スポ本大会・ブロック大会における選手交代に関する特例

下記に示す場合に限り、ブロック大会には補欠選手の交代出場とし、本大会においては予選会時点で決定の正選手の出場を可能とする。（正選手が本大会への出場意思が明確なこと）

【日本体操協会から派遣選手に指定された国際競技会と関東ブロック大会日程が重なり、出場が困難であると認められる場合】

但し、上記は以下の条件を前提に適用される。

日本体操協会管轄事業に限定であり、所属都合での合宿、試技会、その他イベント、コンディション調整の為の休息として、などは認められない。